



速硬化型補修材(60分凝結タイプ)

ユニオン

ベンリー132

(ポリマーセメントモルタル)

荷 姿



10kg紙袋

標準練水量

2.3~2.5ℓ/袋

標準施工面積

2㎡/袋(3mm)

練上がり量

約6.5ℓ/袋

特 長

1. 段差や欠損部の補修の他、1~3mmの下地調整材(部分補修材)として使用できます。※次工程(化粧仕上げ)までには24時間養生が必要
※欠損部補修は100mmまで対応します。
2. 速硬性によって硬化待ちの手待ちが減り、作業が早くスピーディに進みますので現場でのちょっとした補修から工期のない緊急工事まで様々な用途に対応します。

製品仕様

適用下地	コンクリート、モルタル、ブロック
適用部位	内外装壁面、内外装床面
用途	コンクリート、コンクリート二次製品の補修・成形 コンクリート・モルタルの不陸調整 穴埋め補修、レベル出し 各種配管の埋設・固定 外柵フェンス、ポールの設置・固定 等

上表以外の適用につきましては、お問い合わせください。

試験表

(1)フレッシュ性状

項目(単位)	試験結果	試験方法
フロー値(cm)	17.0	JIS A 1171
単位容積質量(kg/ℓ)	1.89	JIS A 1171
凝結試験(分)	始 発	JIS A 5201
	終 結	

(2)硬化性状

項目(単位)	試験条件	試験結果	試験方法
圧縮強度(N/mm ²)	標準時	46	JIS A 1171
曲げ強度(N/mm ²)	標準時	9	JIS A 1171
接着強度(N/mm ²)	標準時	1.1	JIS A 1171
	低温時	0.55	JIS A 1171
吸水量(g)	標準時	7.4	JIS A 1404
透水量(ml/時)	標準時	0.46	JIS A 6916
長さ変化(%)	標準時	0.13	JIS A 1171

【試験時の水量】230cc/kg

【材 齢】付着試験の材齢は14日、それ以外は材齢28日で行った試験結果を示す。

【試験基準】標準時:温室22±2℃、湿度60±10%/低温時:4±1℃、湿度40±10%

日本建築仕上材工業会登録	
登録番号	0704002
放散等級区分表示	F☆☆☆☆
問合せ先	http://www.nsk-web.org/

水濡れ厳禁 無石綿 業務用



二瀬窯業株式会社

Making quality premixed mortar through research and development

用 途 例



現場打ちコンクリートのジャンカ補修・孔埋め



1～3mmの部分補修材として使用出来ます。



カッターで切ることができます



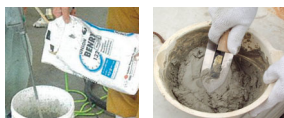
欠損部補修・角おこし(コンクリート・ALCなど)

関 連 資 材



(一社)公共建築協会
建築材料等評価名簿掲載材料
吸水調整材(モルタル用)
ユニレックス3
[18kg/缶]
塗布型吸水調整材
(EVA系合成樹脂エマルジョン)

材料の練り混ぜ



機械練り

手練り

施 工 方 法

下地の清掃・吸水調整

- (1) 下地コンクリートの異物、レイタンス、硬化不良部分、型枠離型剤などの脆弱部分はサンダー、ケレン棒又はワイヤーブラシ等で除去し、清掃してください。
- (2) 露出した鉄筋・番線・釘などは錆を除去した後、エポキシパテ等で防錆処理をしてください。
- (3) 下地の清掃が終わった後、ユニレックス3(5倍希釈)等にて吸水調整をしてください。

材料の練り混ぜ

- **ベンリー132は、10分以内に使い切る量を練り混ぜてください。**

機械練り …… 水道水約2.3～2.5ℓに粉(1袋10kg)を加えてモルタル用かくはん機等で混ぜりムラのないように均一になるように練り混ぜてください。

手 練 り …… 使いきる量を練りバチ(ボウルなど)に入れ水を加え、軟度が耳たぶ程度になるように、均一に練り混ぜてください。

材料の塗付け

- 補修コテ仕上げをする場合

金ゴテでコテ圧をかけながらしごき塗りを行った後、追っかけにて所定の厚さに塗り付けてください。
塗りつけ後、タイミングを見計らって仕上げてください。

- 補修削り仕上げの場合

金ゴテでコテ圧をかけながらしごき塗りを行った後、追っかけにて仕上げたい形状より大きめに塗り付けてください。
塗りつけ後、指で押してへこまない状態を確認し、コテ側面(又はカッターなど)で削るように形を整えてください。

※ 削り作業は少しずつ行ってください。一度に大きく削るとボロッと欠けることがあります。

養生

- (1) 塗りつけ後に、降雨雪の恐れがある場合または、通風・日射の激しいときはシート掛け等の保護養生を行ってください。
 - (2) 夏場施工の際には、ベンリー132塗り付け翌日に散水養生を行ってください。
 - (3) 塗り付け後の養生期間は1日以上とし、その後、次工程に移ってください。
- ※ 施工翌日(または24時間後)で歩行できます。

注 意 事 項

※ 本製品の仕様は予告なく変更する場合がありますので予めご了承ください。

1. 寒冷期、気温が5℃以下及び5℃以下になることが予想される場合は、原則として施工は行わないでください。
2. 練り混ぜた材料は10分以内に使用してください。
3. 固まりかけた材料は接着不良の原因になりますので、使用しないでください。
4. ベンリー132硬化前の雨水などによる濡れは、白華の原因になりますので養生してください。
5. 欠損部の鉄筋が露出してモルタルを厚付けする必要がある場合などは、モルタルの落下を防止する処置を講ずることが重要ですので、この場合は現場監督者の指示に従ってください。



ベンリー132は、安全に正しくお使いください。



ISO 14001取得企業

施工要領・SDS等は別途ご請求ください

20260925.02

プレミックスモルタルの総合開発メーカー

二瀬窯業株式会社

<https://futaseyogyo.co.jp/>

本 社 ・ 工 場 福岡県飯塚市横田669
〒820-0044 tel(0948)22-0447 fax(0948)29-0289

福岡営業所 福岡県飯塚市横田669
〒820-0044 tel(0948)22-0447 fax(0948)29-0289

東京営業所 東京都港区芝2-27-8 マスマンビル 2F
〒105-0014 tel(03)6453-6685 fax(03)6453-6686

関 東 工 場 千葉県木更津市新港15-8
〒292-0836 tel(0438)30-7372 fax(0438)30-7472

名古屋営業所 愛知県清須市西枇杷島町井天45 ヤマモリビル 1F
〒452-0006 tel(052)509-2485 fax(052)509-2486

大阪営業所 大阪府大阪市港区市岡元町2-8-18 ワールドビル 2F
〒552-0002 tel(06)6583-3310 fax(06)6583-3325